

# 事務事業評価シート(平成23年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
74126	職員安全衛生管理事務	総務課	職員係	小澤 辰一	小澤 靖一
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2205
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0201	事業名(歳出予算見積書)	
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章 (コード選択)	7章	効果的・効率的な行政運営のまちづくり	
		節 (コード選択)	4節	効率的な行政運営	
		項[基本施策] (コード選択)	1項	効果的な行政運営	
		目[主な施策] (コード選択)	2目	行政の効率化	
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他	安全衛生年間計画		
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし <input type="checkbox"/>			

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

辰野町職員(臨時的職員を含む)

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどのような状態にしたいのですか。

職員の安全と健康を守り、労働災害及び病気の予防を図る

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 定期健康診断を実施する
- 2 人間ドック・脳ドックの受診を促進する
- 3 安全衛生委員会を開催する
- 4 メンタルヘルス対策を講じる

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	検診の実施数	7	7	7	1.00	7
	説明	検診種目数	目標値設定の根拠 胃・大腸、職員定期健診、臨時職員定期健診、健康応援セミナー				
②	指標名	安全衛生委員会開催数	1	0	2	0.00	2
	説明	委員会及び職場巡視の開催数	目標値設定の根拠 半年に1回				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	検診受診率	91	90	95	0.95	95
	説明	職員健康診断受診率	目標値設定の根拠 平成23年から27年に毎年1%アップを指標とする				
②	指標名	公務・通勤災害認定者数	5	1	1	1.00	1
	説明	認定者数	目標値設定の根拠 平成23年度を越えない数値を指標とする				

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み						
対前年比	%		101.4	100.2						
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)										
B)一般財源(税金)		2,512	2,548	2,553						
①事業費	(千円)	1,850	1,914	1,933						
対前年比	%		103.5	101						
②人件費の概算	(千円)	662	634	620						
対前年比	%		95.7	97.8						
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24				
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.04 0.04 0.04	0.05 0.05 0.05	0.09 0.09 0.09	662	634	620	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合その具体的な内容をお書きください 健康増進事業との連携により、保健師との相談の機会を得る。健康応援セミナーを利用する。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している C 把握していない	A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 人間ドック、脳ドックの希望が増加している。職場環境については、安全衛生委員会の職場巡視や職員労働組合からの要求により把握している。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。)  を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

定期健康診断を受診できる機会を増やした。  
 人間ドック、脳ドックの受診を促した。  
 特定健診の結果、特定保健指導の対象となった職員に対して、健康応援セミナーを開催した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

職員係が、健康診断を受診できる機会を増やし、人間ドックの助成制度を周知するなどして、受診率の向上を図る。また、検診結果に基づき、医療機関での受診が必要な職員に対して早期受診を促すとともに、健康応援セミナーなどを利用して病気の予防に努めるよう助言する。その他、メンタルヘルスへの関心を高める。

24年度予算見積書への反映  あり  なし

〔反映内容〕  
 高受診率を保つための現状維持

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

健康診断を受診できない場合は人間ドックを受診するなど、受診率は向上している。自らが健康管理を行う意識を高めるべく安全衛生委員を中心に啓発を図る。メンタルヘルスの指導や研修会を開催し、メンタル面での発症を予防する。

上位の施策の推進に貢献していますか。  をチェック

- A. 貢献度 大     D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性  を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

b 上記 a~e を選択